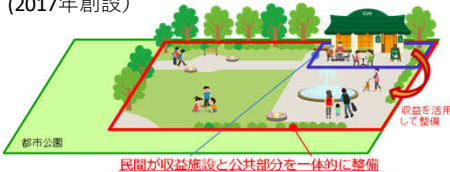


# 民間活力を活かした飾磨中央公園再整備方針【概要版】

## 1 はじめに

公園内で行う民間事業（カフェ等）で得られる収益の一部を公園整備等に還元する公募設置管理制度（Park-PFI）が創設され、魅力的な公園が各地で誕生している。市民アンケートでは公園に木陰・季節感を求める声が多数。

### ■公募設置管理制度（Park-PFI）について（2017年創設）

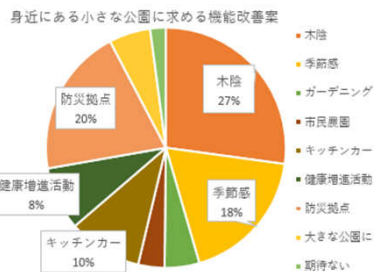


	カフェ等の収益施設 (公募対象公園施設)	広場、園路等の公共部分 (特定公園施設)
従前	民間資金	公的資金
新制度	民間資金	収益を充当 公的資金

### ■全国のPark-PFI活用状況



### ■アンケート調査の結果（R4・市民全体）



右写真：  
神戸市東遊園地  
神戸市ホーム  
ページより



## 2 現状と課題

供用開始28年目に区画整理事業によりリニューアル。改装後12年目だが多くの利用により遊具の傷みが早い。グラウンド利用は特定の利用者に固定化。高いフェンスに囲まれ公園としての一体感に欠ける。

活発に利用される遊具  
→ 12年目にしては劣化が早い  
遊具の対象年齢が高い  
→ 幼児の遊びの幅が限られる



機能が十分でない公衆トイレ  
便器は和式



日差しや雨をしのげる居場所がない



フェンスに囲まれ閉鎖的なグラウンド  
利用者は固定化



出典：姫路市撮影の空中写真（令和2年撮影）

## 3 再整備方針

本市が目指す都市像や公園の姿、市民アンケートの結果等を踏まえ、再整備のコンセプトを次のとおり設定。

### 再整備コンセプト

公園を知って・感じて・学べる空間へ

目指す都市像実現に  
貢献するための  
3つのテーマ

- 【テーマ1】民間事業者による公園空間への新機能の導入
  - サードプレイスとなりえるサービスの提供
- 【テーマ2】より広い層への利用機会の拡充
  - 楽しむ年齢層や選択肢が広がる多様な遊びの場の提供
- 【テーマ3】くらしの一部としてふさわしい既存施設の上質化
  - トイレ改装、季節の移ろいを感じる自然の営み

### 空間設計の視点

- 【視点1】日差しや雨をしのぎ、憩い・くつろげる空間づくり
- 【視点2】公園だからこそその緑の活用
- 【視点3】公園として一体感のある開放的な遊び空間の創出

## 4 再整備イメージ

カフェやレストラン、市民が集える休養・運動施設を民間活力を生かして設置することで、緑地空間や遊具・トイレを含めた公園の上質化を図り、飾磨の顔となる、憩いとにぎわいの空間へ生まれ変わらせる。

※下のイメージ図は、一例として再整備方針を図化したものです。民間事業者のみならずからいただきます。再整備方針をよりよく実現するための提案を基に、整備内容や整備時期を決定していきます。

